

笹川の生物調査にあたって

松村 勉

富山県立伏木高等学校

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮2-11-1

**An Outline on the Survey of Sasa-gawa River and Its Watershed,
Asahi-machi, Toyama Prefecture, Central Japan**

Tsutomu Matsumura

Fushiki High School, 2-11-1, Fushiki-Ichinomiya, Takaoka-shi, Toyama 933-0116, Japan

はじめに

富山県生物学会では県内の生物相を明らかにするとともに会員相互の連携と研鑽を促すことを目的として、2006年(平成18年)より共同で生物調査を実施してきた。県内を新川、富山、高岡、砺波の4地区に分け、順に比較的小規模の河川流域を中心とした地域を指定して実施している。これまでの14回の調査地域は、表1の地域である。本年度は朝日町を流れる笹川を選定した。

表1 過去の調査地域。

回	年	市町村	調査場所
1	2006	南砺市平村	猫池
2	2007	魚津市	角川
3	2008	氷見市	余川川
4	2009	立山町	栃津川
5	2010	小矢部市	渋江川
6	2011	入善町	舟川
7	2012	氷見市	仏生寺川
8	2013	富山市	黒川
9	2014	南砺市	山田川
10	2015	射水市	下条川
11	2016	上市町	郷川
12	2017	氷見市	泉川
13	2018	富山市	野積川
14	2019	小矢部市	小矢部川

昔、笹川は土地の者はササゴウとよんでいた。古くは笹川と書かれ、正保四年(1647)の「越中道記」には「笹川深サ壺尺五寸、幅拾間歩渡り、但水出候而ハ深サ広サ相違御座候、乍去往還之妨ニ成申事無御座候」と記される。近世初め、泊町はこの川の右岸にあったので、河口部では泊川とよばれた(平凡社地方資料センター(編), 1994)。

笹川は、黒菱山(1043 m)を源流として、大鷲谷・鷲谷・逆谷などで水を集め、笹川地区で南保富士(727 m)を源流とする支流の七重谷川と合流して富山湾に注いでいる流長約6 km、流域面積は約15.5 km²の河川である。上流部の急峻な山地帯を流下し、中流の谷平野の河岸段丘に石積みで宅地を造成した笹川地区がある。米を主体に農林業を営み、鎌倉期以降の石塔を祀る地神があつて特色ある文化を伝えている(富山大百科事典, 1994)。

今回の調査項目は植物、魚類、底生無脊椎動物、両生・爬虫類、鳥類、哺乳類である。合同調査日は2020年6月28日と9月27日とした。

但し、調査日の追加や調査地点・方法はそれぞれのグループに任せた。

最後に今回の調査にご協力いただいた地元の皆様に厚くお礼を申し上げます。

(富山県生物学会副会長・企画幹事長)

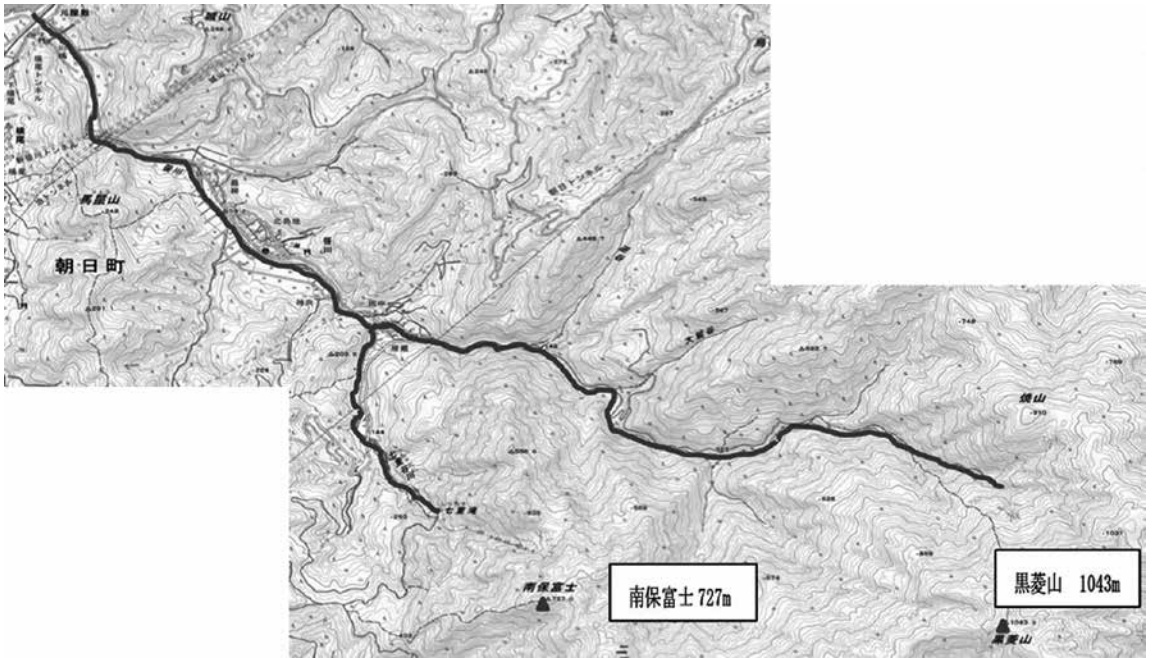


図1 笹川調査地域.



写真1 笹川河口.



写真3 南保富士.



写真2 逆谷.

引用文献

富山大百科事典編集事務局（編）. 1994. 富山大百科事典 上巻. 725pp. 北日本新聞社, 富山.
 平凡社地方資料センター（編）. 1994. 日本歴史地名体系第16巻 富山県の地名. 119pp. 平凡社, 東京.